

Mado 窓

新年号
2015



年頭のご挨拶

2015年の年頭にあたり、新年のご挨拶をさせていただきます。昨年、2014年は、私ども北里大学病院にとって、本当に大きな1年でございました。学校法人北里研究所創立百周年事業の一環として、5月7日に大学病院本館の新築・移転が行われました。そして、12月8日に旧「新棟」が新たに大学病院1号館としてオープンしたことにより、開院以来43年の長きにわたって地域の三次救急医療、高度医療を担当してまいりました既存棟は、その役割を終えることになりました。旧救命救急センター棟は、現在では大学病院2号館として臨床研修センター及び健康管理センターの役割を担っております。

私どもの新病院プロジェクトは2015年にさらに大きく展開をいたします。大学病院では、新病院本館開院後病床数を制限してまいりましたが、2014年12月末に北里大学東病院からの消化器内科・消化器外科・整形外科の病棟が本館に移設された結果、1月から稼働病床985床の体制となります。1月15日には1号館7階に臨床試験センターがオープンいたします。東病院で行われてきたFirst in Humanを含む臨床試験を、これからは大学病院を舞台にしてより活発に実施していくこととなります。

また、年明けとともに、東病院では新しい診療体制のための改修工事が始まり、5月の新東病院開院に向けて準備を進めてまいります。新東病院には、回復期リハビリテーション病棟、在宅・緩和支援センター、小児在宅支援センター、健康科学センター

北里大学病院長 海野 信也

が新たに設置され、大学病院と東病院が一体となって、三次救急医療から在宅医療に至る、各段階の医療を地域の皆様との連携の中で推進していくこととなります。

北里大学病院・東病院は基本理念である「患者さま中心の医療」「ともに創り出す医療」に基づいて「成長する病院」として社会の要請にしっかりと応えてまいりたいと考えておりますが、新しい病院の運営については、様々な試行錯誤を続けている状態です。以前の病院の方が行き届いた医療、ケアがご提供できていたという側面もあるかと存じますが、日々改善の努力を続けてまいります。お気づきの点がございましたら、是非、ご教示、ご指導いただきたくお願い申し上げます。

長年親しんでまいりました大学病院の既存棟では1月半ばから解体工事がはじまります。跡地は駐車場およびキャンパスロードに整備されます。完了には2015年いっぱいかかる予定になっております。工事が長く続き、本当にご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解のほどお願い申し上げます。

本年も北里大学病院・東病院を、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

(うんの のぶや：産科学 教授)

皮膚科学教授就任及び 今後の抱負について



北里大学医学部皮膚科学 天羽 康之

2014年4月1日、学校法人北里研究所、北里大学医学部皮膚科学教室の教授を拜命いたしました天羽康之と申します。私は神奈川県横浜市の泉区（私の生まれた当時は戸塚区の一部でした）で生まれました。その後、藤沢に引っ越し、神奈川県立湘南高等学校を卒業後、北里大学医学部へ入学させて頂きました。そして平成8年に北里大学医学部を卒業後、皮膚科学単位に入り、北里大学病院に就職させて頂きました。そして、多くの諸先輩方のご指導の下、教育、臨床、研究に従事している間に、臨床につながる研究に全力で取り組むという目標が見えてくるようになりました。大きな転機になったのは勝岡憲生名誉教授より、私の前に留学されていた齊藤典充先生（現横浜労災病院皮膚科部長）の後を引き継いで、2003年から3年間、アメリカ、カリフォルニア州のサンディエゴにあるカリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）医学部に留学する機会を頂いたことです。UCSD医学部外科学教室のロバート・ホフマン教授は日本から多くの留学生を受け入れており、最先端のin vivoイメージングに焦点をおいて腫瘍学、再生医療、感染症学を中心に多彩な研究を進めています。私に与えられた研究テーマはマウス毛包からの幹細胞分離実験でした。幸いに、留学期間中に皮膚毛包から分離した毛包幹細胞が神経細胞・グリア細胞・角化細胞等に分化することと、末梢神経や脊髄損傷部を再生する能力を有することを発見することができました。私は留学から帰国後、北里大学医学部皮膚科教室に戻り、臨床、学生教育と並行して末梢神経や脊髄損傷に悩む患者様の治療へ向けた研究を、ロバート・ホフマン教授と共同で進めています。

北里大学新病院におきましては、皮膚腫瘍疾患の診断と治療を新病院の診療の柱にするための努力を続けております。入院や外来化学療法センターにおける腫瘍治療に積極的に取り組むとともに、形成外科をはじめとする関連する臨床科とのカンファレンスを通して、最先端の外科的治療、放射線治療、抗腫瘍薬治療を積極的に行っております。臨床・基礎研究の推進とその成果のおかげで、多くの皮膚悪性腫瘍患者を日本全国から紹介頂き、最先端の研究を進め、治療指針を世界へ発信しています。北里大学の臨床の先生方には、皮膚科の専門性をご理解して頂き、我々の力の及ばない部分をサポートして頂いております。さらに、基礎の先生方には基礎研究を支えて頂いております。大学の先生方のご協力にはいつも大変感謝しております。

北里研究所は、北里大学病院新病院が開院し、北里大学が創立50周年を、北里研究所が創立100周年を迎える非常に大事な時期にあります。北里大学のさらなる発展のため、皮膚科学という分野から国内外へアピールを続け、多くの将来が期待される学生の方々に入学して頂き、北里大学に入ってよかったと思われるような教育を行い、さらに、北里大学病院を選んで来院下さる患者の皆様に満足して頂けるような医療を行うため、微力ですが全力で努力を続けてまいりますので、北里大学の諸先生方には今後も引き続いてのご指導を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

（あもう やすゆき：皮膚科学 教授）

新病院における 集学的がん診療センターの取り組み



北里大学病院
集学的がん診療センター 佐々木治一郎

平成26年5月、満を持して北里大学病院がリニューアルオープンしました。「成長する病院」をモットーに、学祖北里柴三郎先生の理念を実地診療で実現すべく、職員一同心機一転し日々の業務に励んでおります。集学的がん診療センターは、平成26年12月現在、専従医師こそがん薬物療法専門医の私1名のみですが、実務機関として通院治療室、がん相談支援室（がん相談支援センター）、がん登録室、レジメン管理室の4つを有しています。

通院治療室は、新病院の2階に位置し、外来で注射によるがん薬物療法を行う部署で、旧病院の化学療法センターに該当します。がん専門看護師1名、がん化学療法認定看護師1名を含む看護師9名と補佐1名、事務員2名で運営しています。リクライニングチェア40台、ベッド20床を有し、一度に60名の患者さんの治療が可能で、全国の大学病院の中でも有数のハイボリューム通院治療室です。

がん相談支援室（がん相談支援センター）は、トータルサポートセンターの全面的な協力のおかげで、がん専門看護師2名とMSW1名を有し、がん診療に関する様々な相談、がん患者さん・ご家族の支援、ピアサポート活動の支援など幅広い活動を行っています。悩みの多いがん患者さんがアクセスのしやすいように、メンバーはトータルサポートセンターに常駐しています。

がん登録室は、診療情報管理室の全面的な協力を得て、診療情報管理士3名、がん研究センターの実施する研修の中級を修了したがん登録士1名の計4名で構成されています。実務の場所は診療情報管理室ですが、4名のうち2名はがん登録を専従業務とし、入院患者の院内がん登録の確実な実施、外来患者の

がん登録の推進、地域がん登録事業への協力、得られたデータの診療科へのフィードバックを行っています。

レジメン管理室にはがん薬物療法認定薬剤師1名、がん専門薬剤師1名の計2名の薬剤師を有し、北里病院で登録されるがん薬物療法レジメンの登録管理、通院治療室で行われるがん薬物療法の安全性チェックやがん患者さんに対する服薬指導などを行っています。

当院は国認定の地域がん診療連携拠点病院です。集学的がん診療センターは、国および神奈川県のがん対策推進基本計画に準じて、相模原地域におけるがん診療連携の中心的役割を担わなければなりません。北里大学東病院の診療科合流後はさらにスタッフを増員し、上述の院内業務だけでなく、がん診療に関わる他職種研修やがん診療地域連携クリティカルパスの運用など、がん患者に関わる地域の医療機関・福祉介護施設と密な連携を行っていく所存です。地元の患者さんが、地元の医療機関で最適の治療を受け、地元で暖かく見守られる、心のこもった地域包括がん診療を目指しています。皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

（ささき じいちろう：医学部附属新世紀医療開発センター教授）

検査サービス業務の見直しについて

北里大学病院
トータルサポートセンター
病診連携事務担当 中溝 一男

北里大学病院で実施しております検査サービスをいつもご利用いただきましてありがとうございます。

さて、当院では、昨年12月22日に北里大学東病院より複数の診療科が移設をいたしました。これに伴い、北里大学東病院でお受けしておりました検査サービスの項目を一部当院で引継ぐこととなりましたのでお知らせいたします。引き継ぎした項目以外の項目も引き続きお受けしておりますので沢山のご利用をお願い申し上げます。

1. 北里大学東病院より引継ぎした検査サービスの項目

検査項目 ^{※1}	検査名
放射線検査	MRI（単純・造影）
核医学検査 ^{※2}	安静心筋血流・心交感神経機能
内視鏡検査	上部・下部・上部超音波内視鏡

※1 詳細な検査項目については、ホームページをご覧ください。
(アドレス：<http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/index.html>)

※2 核医学検査は、上記の検査項目を引継ぐ他検査項目の整理をいたしました。

○針筋電図は、諸事情により検査サービスより除外します。このため検査が必要な場合は当該科宛の診療情報の提供をお願いします。

2. 検査サービスの受付開始時期について

1) 北里大学東病院より引継ぎを受ける項目

①内視鏡検査

診療体制の環境が整う2月分の予約分よりお受けします。

②放射線検査・核医学検査

1月5日(月)の予約分よりお受けします。

2) 1)以外の検査項目については従来どおりにお受けしております。

3. その他

1) 検査サービスのお申込みお問い合わせは下記までお問い合わせください。

北里大学病院

トータルサポートセンター病診連携担当

TEL 042-778-9988 (直通)

2) 検査サービス申込書(診療情報提供書)及び注意事項・予約票については、当院のホームページよりダウンロードが可能です。また、ご要望により当サービスに必要な書類はFaxで送信します。

(なかみぞ かずお：トータルサポートセンター)



〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学病院 トータルサポートセンター
TEL 042-778-9988 FAX 042-778-9599
<http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/>
E-mail / shoukaiw@kitasato-u.ac.jp